

日本天文学会会員全体集会（2024年9月12日）

26期日本学術会議・分科会報告

- （1）IAU分科会ならびに天文学・宇宙物理学分科会
- （2）日本学術会議の在り方に関する状況

(1) IAU分科会ならびに天文学・宇宙物理学分科会

2023年10月より第26期がスタート

会員・連携会員：<https://www.scj.go.jp/ja/scj/member/index.html>

・物理学委員会の下にIAU分科会ならびに天文学・宇宙物理学分科会
が設置・承認。

<第1回分科会> 2023年12月12日開催（遠隔）

・幹事団（IAU:渡部委員長、生田副委員長 天宇：奥村委員長、浅井副委員長 両分科会：藤澤幹事）
と新たな連携会員3名を承認。

<第2回分科会> 2024年1月29日開催（遠隔）

・天文学・宇宙物理学分科会

- (1) 機関報告（宇宙科学研究所、国立天文台、宇宙線研究所）
- (2) 「未来の学術振興構想」について

—<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/kohyo-25-t353-3.html>

- 19個のグランドビジョンが含まれる。主に18番と19番が本分科会に関係。
- 策定の経緯、方針や公募・評価方法、グランドビジョン決定の経緯説明。
- 26期は科学者委員会の下に学術研究振興分科会を設置。この構想を普及し、内容を精査する活動を行う予定。

・IAU分科会

- (1) 会員推薦
 - 正会員6名、ジュニア会員6名、名誉会員1名を審査、推薦。
- (2) IAU活動報告（APRIM2023、NAEC日本チーム、IAU総会（南アフリカ）2024）

- 2024年3月19日（火）12：00－13：00 オンライン報告会を実施。





(1)ー1 IAU分科会 報告

■ IAU分科会 2023年 7月31日(水) 第3回

➤ (1) 審議事項: NOCおよびNAEC の承認

- NOC: 山岡均(国立天文台)に加えて、Co-NOCとして野上大作(京都大学)、塚田健(平塚市博物館)を承認
- NAEC: 富田晃彦(和歌山大、代表)、鴈野重之(九州産業大)、松本直記(慶応義塾高校、日本天文教育普及研究会会長)、前田昌志(三重大学教育学部附属小学校)、木村かおる(大妻女子大、国際プラネタリウム協会元会長) の継続を承認
 - NAEC WGは以下4人を併せた体制: 縣秀彦(国立天文台、OAO顧問)、篠原秀雄(茨城県立土浦第二高等学校)、矢治健太郎(JAXA)、亀谷和久(国立天文台)

➤ (2) IAU活動報告(IAU総会(南アフリカ)2024 など)

■ 今後のスケジュール —IAU会員募集

- 10月頃 募集開始、12月中旬応募〆切、
- PhD Prize へ応募される方はジュニア会員申請は必須



第32回 IAU総会の報告

■ 第32回 IAU総会

- ▶ 南アフリカ・ケープタウンにて開催、100を超える国と地域から約2000名オンライン約600名オンライン参加。
- ▶ IAUとしては初のアフリカでの開催
- ▶ 名誉会員に関勉氏(高知、アマチュア天文家)が決定
- ▶ 2030年の開催地はチリのサンチアゴに決定(次回はローマ)
- ▶ 新役員・執行部決定:新副会長の一人に南アフリカのJames O. Chibueze氏(鹿児島大学で博士号取得)、Division E Presidentに清水敏文氏が就任

(1) - 2 天文学・宇宙物理学分科会

1) 幹事の追加選出

— 幹事の1名追加（長尾氏）を承認。なお幹事はIAU分科会の幹事も務める。

2) 機関報告（国立天文台、Kavli IPMU、宇宙科学研究所）

3) 26期天文学・宇宙物理学分科会における将来計画の検討について

<25期未来の学術振興構想>

— 2024/10/4（金）13:00～18:00に学術フォーラム「未来の学術振興構想－実現に向けて－」開催。
場所は日本学術会議講堂でオンライン配信。

要・事前申し込み：<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0270.html>

<26期分科会として将来計画をどう推進していくか>

— 過去のマスタープランの策定を振り返り、26期どのように将来計画をどのように議論すべきかについて議論。

— 2025年度に将来計画に関するシンポジウムを開催し、26期末までに将来計画に関する長期的展望を（少なくとも）分科会としてまとめることが提案された。

(2) 日本学術会議の在り方に関する状況

- ・「日本学術会議の在り方に関する有識者懇談会」 <https://www.cao.go.jp/scjarikata/kondankai.html>
 - －2023/8/29, 9/6, 9/25 (25期) , 11/2, 11/9, 11/20, 11/30, 12/13, 12/18, 12/21 (26期)
 - －**中間報告 (12/21)**
<https://www.cao.go.jp/scjarikata/kondankai/chukanhokoku.pdf>
 - ・「日本学術会議の法人化に向けて」 (12/22)
<https://www.cao.go.jp/scjarikata/20231222houshin.html>
 - ・日本学術会議の対応 <https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/division-20.html>
 - －会長メッセージ 2023/8/29, 9/8, 9/29 (25期) , 11/10, 11/20, **12/22** (26期)
 - －**臨時総会 声明 2023/12/9**
<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-26-s190-s.pdf>
- * 中間報告のポイント：**会員選考、活動の幅の拡大、財政基盤の充実、事務局機能の強化、ガバナンスの強化**
- －**総会 声明 2024/4/23**
<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-26-s191-s.pdf>
「政府決定「日本学術会議の法人化に向けて（令和5年12月22日）」に対する懸念について～
国民と世界に貢献するナショナル・アカデミーとして～」
- * 満たされるべき点
- ①改革は学術会議のよりよい役割発揮につながるべき（**財政基盤**）。
 - ② 政府からの**独立性・自立性を担保した組織・制度**。高い透明性を堅持しつつ過重でないガバナンス制度。
 - ③コ・オペレーション及び会員による**会長選出**。

(2) 日本学術会議の在り方に関する状況 (つづき)

・「日本学術会議の在り方に関する有識者懇談会」

<https://www.cao.go.jp/scjarikata/kondankai.html>

—2024/6/7, 7/29

組織・制度ワーキング・グループ： <https://www.cao.go.jp/scjarikata/kondankai/soshikiwg.html>

—2024/4/15, 5/8, 5/22, 5/27, 6/24, 7/11, 7/22

—6/24組織・制度WG資料6「ガバナンス」のイメージ

<https://www.cao.go.jp/scjarikata/kondankai/soshikiwg/20240624shiryo.html>

会員選考等ワーキング・グループ： <https://www.cao.go.jp/scjarikata/kondankai/kaiinwg.html>

—2024/4/26, 5/17, 5/31, 6/17, 7/119

・日本学術会議の対応

—7/11組織・制度WG資料1「日本学術会議のミッションと現在の法人化案への疑問」

<https://www.cao.go.jp/scjarikata/kondankai/soshikiwg/20240711/shiryo1.pdf>

—7/29有識者懇談会資料1「第26期日本学術会議アクションプランの取組状況について」

<https://www.cao.go.jp/scjarikata/kondankai/20240729/shiryo1.pdf>